

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日 令和8年9月24日（木）

2 出席者 21名

(1) 特別委員会委員 8名

(2) 説明員

ア 茨城県 3名

県民生活環境部次長、資源循環推進課長、資源循環推進課新最終処分場整備室長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 2名

常務理事、参事兼整備課長

ウ 日立市 4名

市民生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

3 会議概要

(1) 案件の協議

茨城県から報告を受け、質疑を行った。

なお、報告内容及び主なやり取りは、次のとおり。

ア 新産業廃棄物最終処分場整備の状況について

新処分場本体工事について、先行開業する北側区画の敷地造成工事が完了し、今月から遮水工に着手したことについて説明があった。また、南側区画については、引き続き敷地造成工事を進める予定。

浸出水処理施設については、第1浸出水調整槽築造工事が完了し、引き続き建屋の建築工事や設備工事を進めることについて説明があった。

環境学習施設について、茨城県環境保全事業団が基本設計を完了したことについて説明があった。大型の円形シアターや最終処分場及び環境学習に係る体験型展示などを実施予定。施設の構造は1階平屋ユニット工法で、環境への理解を深めるためのデジタル技術を活用した映像コンテンツなどの上映ができる大型シアターや、廃棄物だけでなく自然環境の保全や地球温暖化への対応などをテーマとした展示を予定していることについて報告があった。

イ 新設道路工事等について

諏訪工区では、（仮称）大久保町第2トンネル本体工事等を進めており、今年3月に発生した事故の原因究明及び再発防止策を講じた上で、7月から工事を再開したこと、さらに、新設道路整備に係る全ての工事受注者に対し、安全教育の再実施など安全管理の徹底を指示していることについて報告があった。

大久保工区では、昨年度（仮称）第1号橋及び（仮称）第2号橋の下部工が完了し、（仮称）大久保町第1トンネルについては先月貫通したことについて報告があった。また、今月から12月までの一部期間において、山側道路や市道の一部区間で夜間通行止めを含む通行規制を行うことについて、周辺自治会への説明及び周知資料の配布のほか、広報ひたち9月号にお知らせを掲載したことについて報告があった。

周辺道路工事について、県道日立常陸太田線の片側歩道整備について、今年度は諏訪梅林から大平田集会所の用地取得が不要な一部区間で、ガードパイプや張出歩道等の設置工事を実施しており、当該区間は年内に工事完了予定であることについて報告があった。

(2) 主なやり取り

ア 委員：全ての搬入車両は、大みか6丁目交差点から山側道路へ進入し、中丸団地入口において右折信号待ちをすることになるかと思う。交通状況によってはダンプ等の大型車両が2台、3台と連なって停車する可能性がある。特に、この箇所が下り坂でありながらカーブしているため、住民から交通安全上の不安の声を聞いている。現在の道路幅や車線構成がどのようになっているのか。また、右折レーン設置に伴う安全性を踏まえ、今後どのように改良が進められるのかについて教えてほしい。

回答：大久保学区コミュニティの役員からも意見をいただいていることを承知している。いただいた意見も踏まえ、高萩工事事務所において、右折レーンの設置等に当たり、皆様の意向をどのように設計に反映できるかについて、現在検討しているところである。設計がまとまり次第、お示しできるものと考えている。

意見：住民の不安に向き合い、その不安が払拭できるよう、丁寧な説明と必要な対策を講じてほしい。

イ 委員：新設道路の完成時期がいつ頃になるか決まっているのか。

回答：供用開始が当初の計画より1年半程度遅れることで発表しており、供用開始に間に合うよう整備を進める見通しで考えている。

委員：新設道路が完成しないと新処分場の供用開始はしないという認識でよいか。

回答：新設道路が開通しなければ新処分場の供用開始はしないというところは変わらない。

意見：供用開始時期ありきで工事を進めると、事故が起こる可能性が懸念される。安全対策がおろそかにならないよう安全管理を徹底してほしい。

ウ 委員：環境学習施設について、利用促進の方向性をどのように考えているのか。また、施設の展示内容等について、地元4学区に説明済みか。

回答：利用促進は重要と考えており、来館者が楽しい、面白いと感じてもらえる施設にすることが重要である。施設の展示を工夫するとともに、最新のデジタル技術、参加体験型展示を取り入れていきたい。また、季節ごとにイベント開催することで、継続的な来館につなげたい。

4学区への説明は本日の委員会審議後、今月中に地元住民協議会に報告する予定である。

意見：施設見学や体験プログラムの充実により、子供たちが環境について学ぶ機会を創出するとともに、市民に新処分場に対する理解を深めてもらうよう、継続的にイベントを実施するなど、利用促進に努めてほしい。

エ 委員：油縄子交差点改良、大久保中学校の南東交差点の補助信号設置検討、上下水道整備について、それぞれの進捗状況を教えてほしい。

回答：油縄子交差点の改良については、令和6年2月から地元説明会を実施し、

その後、用地交渉などを順次進めているところである。用地取得等についてはほぼ完了している状況となっている。新処分場の供用開始が１年半延期されたことに伴い、工事車両が引き続き通行することが予想されるため、工事着手時期については、地域への影響を勘案しながら進めていく考えである。

大久保中学校の南東交差点の補助信号設置については、必要性等について調整を進めているところであるが、現時点では具体的に対応する状況にはなっていない。

上下水道の整備については、茨城県環境保全事業団において、順調に工事を進めているところであり、今年度中に工事が完了する見通しとなっている。

意見： いずれの事業についても、処分場の完成を待たずに進められるものは、市民の安全に十分配慮しながら早急に進めてほしい。

以 上